

言語活動の充実に関する実践事例

学校名 (三次市立吉舎小学校)

- ① 教科等 家庭科 ② 学年 第6学年
- ③ 題材名 まかせてね!きょうのごはん
- ④ 本時の目標 家族のために、栄養のバランスがよい朝食の献立を考えたり、工夫したりすることができる。
- ⑤ 学習の流れ (4時間目/全11時間)

【言語活動の充実】

学習活動	指導上の留意事項	評価規準〔観点〕 (評価方法)
1 本時の学習課題を確認する。		
家族のために、栄養のバランスを考えた1食分の朝食の献立を考えよう。		
2 グループごとに1食分の朝食の献立を考える。	<ul style="list-style-type: none"> ・リーダーや記録の役割を決めて話し合いを進めさせる。 ・ワークシートに料理絵カードを使ってわかりやすく考えさせる。 	
3 グループで考えた1食分の朝食の献立を交流し合い、他のグループの工夫を知る。	<ul style="list-style-type: none"> ・献立を立てるときに、工夫したことや栄養のバランスについて考えたことを発表させる。また、なぜそのように工夫したのか理由と一緒に紹介させる。 ・料理絵カードなどを使って視覚的に分かりやすく発表させる。 ・栄養の分類表を使い、バランスについて点検させる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・栄養のバランスを考えて食品を組み合わせ、3グループの食品のそろった、1食分の献立を考えたり、自分なりに工夫したりしている。〔生活を創意工夫する能力〕
4 本時の学習の振り返りとまとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> ・自分たちのグループと他のグループとの共通点を明らかにしながら、まとめるように指示する。 ・1食分の献立をつくる時には、栄養のバランスの他に、調理する時間や色どり、季節にあったものなども工夫するとよいことを知らせる。 ・振り返りでは、献立を考えるときに感じたことや他のグループの発表を聞いて感じたことを書かせる。 	(発表, 行動観察, ワークシート) A: 栄養のバランスの他に、味のバランス, 季節感, 調理の時間なども考えながら工夫している。 B: 栄養のバランスを考えて工夫している。

設定した言語活動を通して育てたい力

○ 栄養のバランスに着目しながら、家庭や自分の食生活について見直すとともに、献立づくりにおいて工夫した理由を説明することができる。

言語活動の充実のための指導の工夫

- 思考を深める発問の工夫をする。
- 分かりやすく説明するための料理絵カードが使えるワークシートを活用させる。
- グループ学習を取り入れ、全体交流がより深まるよう指導形態の工夫をする。